

つなぐ

第37号

令和7年(2025年)
5月1日発行
鳥取県 境港市議会

| | |
|-----------------------------------|------|
| 令和7年度当初予算 | P 2 |
| 令和7年1月臨時会・3月定例会(議決結果) | P 4 |
| 一般質問 | P 6 |
| 「市民と議会の懇談会」報告・経済厚生委員会行政視察報告 | P 18 |

国際定期便の充実が期待される
米子魂太郎空港



令和7年1月臨時会・3月定例会（令和6年度補正予算・令和7年度当初予算・議決結果）

令和7年1月臨時会・3月定例会（令和6年度補正予算・令和7年度当初予算・議決結果）

境港市議会では、1月24日に臨時会が開かれ、続いて2月25日から25日間の会期で3月定例会が開かれました。「令和6年度境港市一般会計補正予算」、「令和7年度境港市一般会計予算」など予算16議案、「境港市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例制定について」など条例16議案、人事2議案が上程されました。審議、採決の結果、議案はすべて原案のとおり可決されました。

また、提出された「『最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書』の採択を求める陳情」は賛成多数で採択、「旧姓の通称使用の法制化を求める陳情」など陳情3件は、いずれも賛成少数で不採択となりました。委員会提出議案「境港市議会基本条例の一部を改正する条例制定について」、「境港市議会政治倫理条例の一部を改正する条例制定について」、「境港市議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例制定について」は原案のとおり可決されました。

議決結果はP4、P5に掲載しています。また、市議会ホームページでもご覧いただけます。

このたび可決した令和7年度当初予算から主な事業をP2、P3で紹介します。



高齢者の带状疱疹予防接種事業

高齢者の带状疱疹の重症化予防、健康の増進をはかるための定期接種費用

3,906万円



予約型乗合バス運行事業

AI（人工知能）を活用した予約型乗合バス（みなとーる）の運行費用

9,203万円



老人福祉センターリニューアル事業

老朽化が進んでいる境港市老人福祉センターについて、今後も高齢者福祉推進の拠点として活用するため、大規模改修に向けた設計費用

886万円



写真：脱炭素先行地域である市内観光地（竹内団地）

脱炭素先行地域づくり事業

脱炭素化を推進するため、耕作放棄地に太陽光発電設備の設置と、公共施設のエネルギー使用量の見える化を行う事業者に対しての補助金

1,978万円



渡地区コミュニティ 供用施設整備事業

渡漁港の埋立地に、災害時の避難所機能を有するコミュニティ供用施設の整備費用

6,610 万円



保育コンシェルジュ事業

子育て家庭などからの保育サービスの利用や子育て全般に関する相談を受ける「保育コンシェルジュ」を新たに配置する費用

276 万円



犯罪から市民を守る 防犯機器購入事業補助金

住居への不法な侵入による強盗等の被害にあわないよう、60歳以上の人が住む住居の防犯対策費用の補助金

755 万円



海とくらしの史料館改修事業

「海とくらしの史料館のあり方に関する提言書」をもとに、施設のリニューアルに向けた方向性や事業規模などを定める基本構想の策定経費

127 万円



みなと祭実行委員会補助金

80 回目を迎えるみなと祭について、本市出身のプロミュージシャンなどを招いた前夜祭や、例年よりも規模を拡大した花火大会の開催費用の補助金

820 万円



市民テニスコート改修事業・竜ヶ山陸上競技場改修事業

利用者が安全で快適に利用できるよう、老朽化した体育施設の改修工事費用

市民テニスコート改修事業 **9,943 万円**

竜ヶ山陸上競技場改修事業 **9,984 万円**

各委員会での質疑・意見

■ 予算委員会

「学校再編計画推進事業」について

境港市においても小中学校の児童生徒数は、減少傾向で進むことを想定しており、あわせて施設の老朽化、再編により地域から学校がなくなること、通学の問題など、再編することによるさまざまな課題を考え、未来の子どもにとってより良い学校の姿への計画を進めるものです。

委員からは学校再編計画推進事業の先進地視察について、視察メンバーに関する質疑や住民の合意形成の取り方、再編後の課題などについても調査していただきたいという意見などがありました。

■ 総務民教委員会

「境港市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について」

この条例は議会より市長に対し、議員報酬の見直しについて特別職報酬等審議会の開催を求めた件について、審議会の答申にもとづき、議員報酬の額を改定するものです。委員からは、審議会での議論の内容などに関する質疑がありました。採決の結果、賛成多数で「原案の通り可決すべきもの」と決しました。ただし、1名の委員より反対の意思表示がありました。

■ 経済厚生委員会

「境港市心身障害者ふれあいセンター設置条例の一部を改正する条例制定について」

この条例は指定障害福祉サービス事業者などが、心身障害者に対し、就労継続支援B型以外の障害福祉サービスの提供や相談支援などを行うことができるよう、所要の改正を行うものであります。

採決の結果、全員異議なく「原案の通り可決すべきもの」と決しました。

賛成：○ 反対：× 退席：－ （注）賛否状況は全て案件に対する各議員の賛否状況を記載しています。

| 自由未来 | | | | | | 賛 否 状 況 | | | | | きょうどう | | 境港市議会公明党議員団 | | 無所属 | |
|------|------|------|-----|------|------|---------|------|------|------|-----|-------|------|-------------|------|-----|--|
| 荒井秀行 | 永井章 | 加藤文治 | 吉井巧 | 松本晶彦 | 伊藤康弘 | 岡空研二 | 米村一三 | 森岡俊夫 | 平松謙治 | 柗康弘 | 田口俊介 | 足田法行 | 景山憲 | 安田共子 | | |
| ○ | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | | |
| ○ | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | | |
| ○ | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | | |
| ○ | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | | |
| ○ | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | | |
| ○ | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | | |
| × | 議長 | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | ○ | | |
| × | 議長裁決 | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | | |
| ○ | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | × | × | × | ○ | × | | |

令和7年1月臨時会・3月定例会 議決結果一覧表【全会一致で議決したもの】

| 会議 | 提出者 | 区分 | 番号 | 案件名 | 議決結果 | |
|-------|--------|---------|--------------------------|-------------------------------------------------|----------------------------------------------|------|
| 1月臨時会 | 市長 | 予算 | 第1号 | 令和6年度境港市一般会計補正予算（第11号） | 原案可決 | |
| 3月定例会 | 市長提出議案 | 人事 | 第2号 | 人権擁護委員候補者の推薦について | 推薦に同意 | |
| | | | 第32号 | 副市長の選任について | 同意 | |
| | | 予算 | 第4号 | 令和6年度境港市国民健康保険費特別会計補正予算（第1号） | 原案可決 | |
| | | | 第5号 | 令和6年度境港市駐車場費特別会計補正予算（第1号） | 原案可決 | |
| | | | 第6号 | 令和6年度境港市介護保険費特別会計補正予算（第3号） | 原案可決 | |
| | | | 第7号 | 令和6年度境港市市場事業費特別会計補正予算（第2号） | 原案可決 | |
| | | | 第8号 | 令和6年度境港市公共下水道事業会計補正予算（第5号） | 原案可決 | |
| | | | 第10号 | 令和7年度境港市国民健康保険費特別会計予算 | 原案可決 | |
| | | | 第11号 | 令和7年度境港市駐車場費特別会計予算 | 原案可決 | |
| | | | 第12号 | 令和7年度境港市介護保険費特別会計予算 | 原案可決 | |
| | | | 第13号 | 令和7年度境港市市場事業費特別会計予算 | 原案可決 | |
| | | | 第15号 | 令和7年度境港市公共下水道事業会計予算 | 原案可決 | |
| | | | 第33号 | 令和6年度境港市一般会計補正予算（第13号） | 原案可決 | |
| | | | 条例 | 第16号 | 境港市職員の勤務時間、休憩時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例制定について | 原案可決 |
| | | | | 第17号 | 境港市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定について | 原案可決 |
| | | | | 第18号 | 境港市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例制定について | 原案可決 |
| | | | | 第19号 | 境港市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例制定について | 原案可決 |
| | | 第20号 | | 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定について | 原案可決 | |
| | | 第21号 | | 境港市水木しげる基金条例の一部を改正する条例制定について | 原案可決 | |
| | | 第22号 | | 境港市太陽光発電設備管理基金条例制定について | 原案可決 | |
| | | 第23号 | | 境港市消防賞じゅつ金及び殉職者特別賞じゅつ金条例の一部を改正する条例制定について | 原案可決 | |
| | | 第25号 | | 境港市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について | 原案可決 | |
| | | 第26号 | | 境港市心身障害者ふれあいセンター設置条例の一部を改正する条例制定について | 原案可決 | |
| | | 第27号 | | 境港市介護予防筋力向上トレーニング事業手数料の徴収に関する条例の一部を改正する条例制定について | 原案可決 | |
| | | 第28号 | | 境港市民バスの運行に関する条例を廃止する条例制定について | 原案可決 | |
| | | 第29号 | | 境港市手数料条例の一部を改正する条例制定について | 原案可決 | |
| | | 第30号 | 境港市営住宅条例の一部を改正する条例制定について | 原案可決 | | |
| | | 委員会提出議案 | 第1号 | 境港市議会基本条例の一部を改正する条例制定について | 原案可決 | |
| | | | 第2号 | 境港市議会政治倫理条例の一部を改正する条例制定について | 原案可決 | |
| | | | 第3号 | 境港市議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例制定について | 原案可決 | |

※このほか報告が1件ありました。

令和7年1月臨時会・3月定例会 議決結果一覧表【賛否の分かれたもの】

| 会議 | 提出者 | 区分 | 番号 | 案件名 | 議決結果 |
|-------|------------------------------------|------|-------------------------------------------|------------------------------|------|
| 3月定例会 | 市長提出議案 | 予算 | 第3号 | 令和6年度境港市一般会計補正予算（第12号） | 原案可決 |
| | | | 第9号 | 令和7年度境港市一般会計予算 | 原案可決 |
| | | | 第14号 | 令和7年度境港市後期高齢者医療費特別会計予算 | 原案可決 |
| | | | 第34号 | 令和7年度境港市一般会計補正予算（第1号） | 原案可決 |
| | | 条例 | 第24号 | 境港市学校給食費徴収条例の一部を改正する条例制定について | 原案可決 |
| | 陳情 | 第31号 | 境港市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について | 原案可決 | |
| | | 第1号 | 「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情 | 採択 | |
| | | 第2号 | 市内小中学校の給食費値上げをしないことを求める（陳情） | 不採択 | |
| 第3号 | 国に対し「原発依存度の低減」を求める意見書を提出することを求める陳情 | 不採択 | | | |
| 第4号 | 旧姓の通称使用の法制化を求める陳情 | 不採択 | | | |

市政を問う

議員12人が一般質問を行いました。

| ページ | 質問事項 | 質問議員 | ページ | 質問事項 | 質問議員 |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------------|-------|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| 6 | 各各質問 ①地域公共交通について | 平松 謙治 | 13 | 各各質問 ①国の学校給食無償化を待たず、市独自にできることについて ②原子力発電(屋内退避、エネルギー基本計画、プルサーマル発電)について ③利用しやすい生活保護制度になるための取り組みについて | 安田 共子 |
| 7 | 代表質問 ①誰もが安心して元気に暮らす支え愛のまちづくりについて ②さかな・鬼太郎・港を生かしたまちづくりについて ③自然と共に安全で住み良いまちづくりについて | 松本 晶彦 | 14 | 各各質問 ①済生会境港総合病院改築事業の進捗状況について ②認知症対策の充実について | 景山 憲 |
| 8 | 関連質問 ①みなと祭について | 伊藤 康弘 | 15 | 各各質問 ①魅力あるまちづくりの取り組みについて ②小中学校の再編について | 米村 一三 |
| 9 | 関連質問 ①まちづくり総合プランと立地適正化計画策定事業について ②自治会の組織強化、公民館の連携について | 荒井 秀行 | 16 | 各各質問 ①デジタルデバイドの解消に向けた施策と広報のあり方について ②海とくらしの史料館のあり方について ③住宅耐震化補助事業などによる空き家対策と人口流出対策について | 足田 法行 |
| 10 | 関連質問 ①学校教育について ②学校再編計画推進事業について | 加藤 文治 | 17 | 各各質問 ①公共工事の入札・受注状況について ②「子育てするなら境港」を標榜する子育て支援策について | 森岡 俊夫 |
| 11 | 関連質問 ①支え愛マップについて ②予約型乗合バス運行事業について | 吉井 巧 | | | |
| 12 | 各各質問 ①本市のカスタマーハラスメント対策について ②公民館・地区集会所等の機能強化について | 田口 俊介 | | | |

紙面の都合上、質問と答弁を要約しています。
議事録は議会事務局やホームページで閲覧できます。

みなとーるで 公共の福祉の増進を

市長

よりよい交通手段となるよう対応



予約型乗合バス「みなとーる」の敷地内への乗り入れが期待されるミーティングポイント(社会福祉協議会・浜の里)

〔平松〕予約型乗合バス「みなとーる」のAー(人工知能)による学習効果は、



会派 きょうどう
平松 謙治 議員

〔産業部長〕Aーによる学習以前に想定される走行時間の変更など初期設定の見直しを行っている段階である。

〔平松〕車の小型化により、済生会病院のような屋根のある場所まで車が入り込めるミーティングポイント(停留所に当たる待合場所)を増やせないか。

〔産業部長〕ミーティングポイントの変更は可能ではあるが、地域公共交通会議で

議論の結果、今後2年程度の検討期間を置くことになった。

〔平松〕このバスの目的は、公共の福祉の増進にある。市長の決意は。

〔市長〕予約型乗合バスは、実証試験でも幅広い年齢で利用されている。より良い交通手段となるよう、改善点は、スピード感を持って対応していきたい。

入学準備にかかる費用の助成を

教育長

教育費の支払いが困難な家庭には支給される



会派 自由未来

松本 晶彦 議員

〔松本〕食料品の値上げ、ガソリン・灯油など燃料の高騰で、先の見えない状況の中、制服や体操服、靴などの入学

準備にかかる費用が負担に思われてる家庭もあると聞いている。

入学準備にかかる費用の助成ができないかうかがう。

〔教育長〕入学準備の助成については、経済的な理由で教育費の支払いが困難な家庭には新入学用品に対して、小学校5万4千60円、中学校6万3千円を支給している。

〔松本〕特別支援学級、ひとり親家庭の



高額なブレザーの制服

保護者には、特別支援教育就学奨励品費、入学準備金が支給される。中学生、高校生は身体の成長にともなって、制服や体操服を新調しなければなりません。境港市社会福祉協議会の取り組み、制服しあわせネット事業に、広報での支援、もしくは助成などできないかうかがう。

〔福祉保健部長〕境港市社会福祉協議会と、広報などについて相談してみたい。

大漁旗を活用した境港の魅力発信を

市長

関係団体と協議をしてみたい

〔松本〕市民や本市を訪れた観光客向けに、大漁旗のステッカーや小さな大漁旗を市内飲食店や小売店の店先などに設置することで境港の魅力発信になると考えるが。

〔市長〕本市の大漁旗は一日の水揚げが1千トンを超える場合に本庁舎に掲揚しており、令和6年は

150万枚活用されており、大きなPR効果があると考えている。大漁旗の活用については、これまでの取り組みや他自治体などの事例を参考にしながら、事業効果が見込めるか、水産関係者や（一社）境港観光協会などと協議してみたいと思う。



境港市大漁旗のデザイン

大地震の危機対策の対応は十分か

地域防災計画にもとづき対応する

市長

〔松本〕本市は国の定める、南海トラフ地震防災対策推進地域の指定は受けてはいないが、気象庁が公表した、南海トラフ地震で想定される震度や津波の高さの被害想定資料では、鳥取県と島根県は震度5以上と想定されている。



地震による災害風景

震度5以上の大地震が発生した際の危機対策、指示系統は十分か、うかがう。

〔市長〕災害発生時の応急対策については、地域防災計画のもと、災害対策本部を設置。鳥取県・消防・警察・自衛隊などと連携し組織的な初動体制を構築しながら災害対応や災害応急対策にあたる。

伝達アプリのロゴチャットを推奨されているが、推奨ではなく、職員間の連絡には、ロゴチャットを利用してはどうか。

〔防災監〕管理職については、ロゴチャットを中心に連絡体制を構築している。

〔総務部長〕職員へは電話、メールでの連絡網はできている。

みなと祭での灯ろう流しの復活は

産業部長

今後祭の企画実施本部会議にて協議していく

〔伊藤〕本年のみなと祭は節目である80回目を迎える。近年、水木しげるロードでの踊りパレードがなくなり、全体的に市



会派 自由未来 伊藤 康弘 議員

民の参画が少ない印象がある。猛暑時期の開催を変更するなど検討しては。

〔市長〕みなと祭の開催時期に関して今後開催される企画実施本部会議において総合的に検討する。また、水木しげるロードでの踊りパレードは猛暑による影響で、参加者が大幅に減少したことを受け、中止となり、みこしパレードについても参加団体

の減少などを理由に2019年を最後に終了した。みなと祭での市民の参画については特設ステージでの歌や踊りを披露する場を設けている。

〔伊藤〕今後、灯ろう流しや踊りパレードの復活はあるか。

〔産業部長〕灯ろう流しの復活などは、今後開かれるみなと祭企画実施本部会議にて協議していきたい。



みなと祭での灯ろう流しの様子

農用地や地目変更の見直しは

市長

市街化調整区域内の検討はおこなう



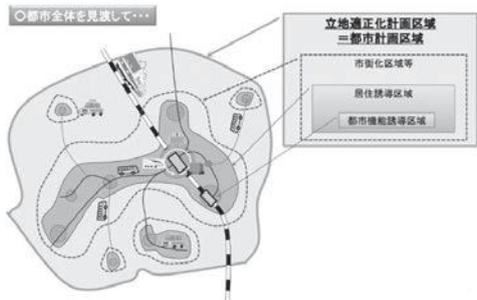
会派 自由未来
荒井 秀行 議員

【荒井】現在、本市ではまちづくり総合プランの点検と同時に立地適正化計画策

定を行っている。この立地適正化計画のプロセスで、都市計画マスタープランの見直しができると思うが、見直しは行わないのかうかがう。

【市長】立地適正化計画は、令和4年に改訂した都市計画マスタープランの基本方針に沿って計画策定を進めている。その過程での見直しは考えていない。

【荒井】本市の都市計画を考える上で、市の中心部にある農



立地適正化計画のイメージ図
(国土交通省の資料より)

用地と見直しがほとんどない市街化調整区域の問題がある。今回の立地適正化計画でも、対象外になっている。どの段階でこの問題は検討するのかうかがう。

【市長】この計画では、都市機能誘導区域と居住誘導区域は市街化区域に設定する必要はある。市街化調整区域内も含めまちづくりの検討を行うが、農用地については住宅などの開発は考えていない。

公民館の機能強化と予算充実は

市長

事業計画があれば教育委員会と協議する

【荒井】笑顔あふれるまちづくりの実践のため、住民自治の活動は不可欠。そのための公民館の機能強化は必要条件と考えるが、見直しをうかがう。

【教育長】公民館は、「集い・ふれあい・学び合い」のスローガンのもと、社会教育および生涯学習に

取り組むとともに、地域コミュニティの拠点としての機能を果たしている。近年、子ども居場所づくりにも取り組んでいる。引き続き、つながりを活かし、人づくり、地域づくりなどの地域コミュニティの拠点として、役割を果たしていく。



公民館外観のイメージ図

【荒井】地域問題は自治会で行い、最終的な課題は公民館で扱うことになる。生涯学習の拠点で地域コミュニティの核になる公民館は予算充実・強化が必要と思うがどうか。

【市長】教育委員会と調整しながら進めることになる。

ICT教育のあり方を検証しては

教育長

結果を踏まえ、
学力の定着度を検証する



会派 自由未来
加藤 文治 議員

【加藤】平成18年に一人一台端末の整備がされ紙の教材からデジタル教材へ移行しているスウェーデ



アナログとデジタルを活かした本
「さかいみなと歴史探偵団」

ンでは、学力の低下が顕著となり、紙の教材に戻る動きが広まっている。
令和6年度の全国学力・学習状況調査では、本市小中学校の平均点が全国平均を下回った。このことはスウェーデンで起こった現象の前兆ではないか。
ICT教育のあり方を検証し、軌道修正すべきと考えるが、見解をうかがう。
【教育長】紙とデジ

タルをバランスよく効率的に活用するための研究をしている。
【加藤】若い世代の脳はマルチタスクに脆弱、学習効率が低下し、結果的に成績の低下につながる。初等教育では、デジタルではなくアナログが大切では。
【教育長】各種学力調査結果や児童生徒の質問紙の結果を踏まえ学力の定着度を検証する。

大枠の金額を算出し提示すべきでは

教育長

協議を進め学校の形が
定まった段階で示す

【加藤】少子高齢化にともない、児童・生徒数が減少している現状を踏まえ、小中学校の再編を4つの再編パターンで、検討をしている。
校舎については、木造、鉄骨造、鉄筋コンクリート造など、構造で予算が大きく変化する。
4つの再編パター

ンで、建設費を提示し、小中学校の再編について、市民に問うべきだと考える。
【教育長】自治会・教職員・子ども・保護者の意見を参考に4つの再編パターンの建物の複合化や、教育環境の検討を進める。建設費については、建設部や財政課とも協議を進め、学校の形が定まった



鉄筋コンクリート造の境小学校の校舎

段階で市民に示す考えである。
【加藤】地区に学校がなくなると地域の衰退につながる。7つの小中一貫校を木造で造り、コンクリートの校舎をなくせば施設総量の縮減になるのでは。
【教育長】多様な意見を聞いて進めた

課題解決に向け 重層的な組織構築を

市長

市内の各部署で連携して
迅速に対応する



鳥取県社会福祉協議会の
支え愛マップのリーフレット



会派 自由未来

吉井 巧 議員

〔吉井〕 支え愛マップ作成事業は、空き家対策、狭隘道路や危険ブロックなどの危険個所の把握、地

域福祉人材の育成の一助となり、さまざまな課題解決につながるが、支え愛マップを作成している自治会や地域は、10団体程度と市内では浸透していない。

支え愛マップ事業を複合的な事業ととらえ、迅速に問題解決が行えるよう、重層的な組織体制の構築が必要と考えるが、本市の見解は。

〔市長〕 支え愛マップを作成する過程で把握した危険個所は、災害時の避難行動だけでなく、普段の生活にも支障をきたす可能性があり、迅速に対応することが重要である。市に情報提供していただいた際には、市内の各部署で連携して対応することで、住民の安心・安全を確保することができる体制を構築したいと考える。

降車時刻予約に システム変更を

市長

今後も出発時刻での
予約受付を行っていく

〔吉井〕 「予約型乗合バスみなとーる」をテーマに市民と議会の懇談会を開催し、市民より、多くの意見をいただいた。中でも、予約乗車時刻がずれ込むことへの不満があり、通勤・通学や病院など始業時間や診察時間が決まっている人が利用する場合には、不向

きだと感じた。乗車時刻で予約するのでなく、降車時刻で予約ができるよう、予約システムを変更することはできないか、問う。

〔市長〕 乗車する車両に入る新規予約やキャンセルの状況で、到着時刻が15分程度遅くなる場合がある。予約時に「到着予定時刻」と合わせ「目的地に、遅くとも何時に着くか」をお知らせしている。希望の到着時刻になるよう予約してほしい。到着時刻予約に変更すると、逆に出発時刻が前後するため、待ち時間が長くなるなどのデメリットが生じることから、システム変更は行わない。

| スケジュール | |
|--------|---------------------------------------------------------------------|
| ★ | 出発時刻 18:03 1分歩く 日本、〒684-0053 鳥取県境港市小篠津町758 |
| ● | 乗車予定時刻 18:04 255 電泉寺入口B - りゅうせんじりぐち |
| ● | 降車予定時刻 18:17 遅くとも 18:30 頃には到着 146 県営住宅外江団地A - けんえいじゅうたくとのえだんち |
| ★ | 2分歩く 遅くとも 18:32 頃には目的地に到着 日本、〒684-0071 鳥取県境港市外江町2363-1 |

目的地への到着予定時刻を知らせる画面
(みなとーる予約アプリ抜粋)

早急な カスハラ防止対策を！

市長

スピード感をもって
対策を講じたい



職員と市民との適切な関係構築のため、
カスハラ※対策は重要です。
※カスタマー・ハラスメントの略

〔田口〕本市におけるカスハラについて
①市役所や関係施設での苦情や相談件数



公明党
田口 俊介 議員

は。②対応方針やガイドラインの策定、職員向け研修やマニュアル整備の状況は。③カスハラ防止の広報・啓発活動の計画、職員の相談窓口設置や、メンタルヘルス対策は。

〔市長〕①件数は集計してないが、事案があることは承知している。②全庁的な対応マニュアル策定に向け、他自治体の事例などを研究中。職員向けの研修は今年度カスハラ防止に特化した研修をすべての正職員を対象に実施。③広報・啓発手法も他自治体の好事例を研究中である。

〔市長〕①件数は集計してないが、事案があることは承知している。②全庁的な対応マニュアル策定に向け、他自治体の事例などを研究中。職員向けの研修は今年度カスハラ防止に

〔市長〕早く対策を講じてそれを広く公表することが職員の、ひいては市民のためになる。
スピード感をもってやっていきたい。

公民館などへの 防犯カメラ設置は

教育長

まずは一つの公民館に
試験的に設置したい

〔田口〕夜間や休日の職員不在時の利用に関する防犯上のリスク低減と、本市の公民館や学習等供用施設の安全性向上のため、防犯カメラ設置を検討する考えはあるか。また、具体的な設置計画は。

〔教育長〕夜間や休日の防犯上のリスクについては認識しており、公民館長会でも運営上の課題として協議を行ってきた。今後、警察と相談しながら、まずは一つの公民館に試験的に防犯カメラを設置したい。

〔田口〕自治会集会所への公衆WiFi機器については、自治会活動のデジタル化による負担軽減や活性化に資するものとして、設置への補助を行っている自治体もある。本市においても、そうした視点からの支援策を提案するが、どうか。

〔市長〕まずは市自治連を通じ、各自治会のデジタル化の意向を調査し、そうした補助制度についても検討してみたい。



夜間・休日もより安心して
利用できる公民館へ

国の学校給食無償化までに 独自策を



無所属（日本共産党）
安田 共子 議員

市長

ふるさと基金活用の無償化は 財政的に困難

【安田】国による学校給食無償化に先立ち、補助や助成の拡充、ふるさと基金を活用しての給食費無償化はできないか。

【教育長】給食費全額免除の制度を設けており、国の無償化方針もあるので、拡充の考えはない。

【市長】ふるさと基金は令和7年度予算案では136事業、総額で5億3千万円余を活用。仮に給食費無償化の財源としてふるさと基金を活用すれば、その他の事業に充当する一般財源が不足するため、困難である。

国の原発最大限活用方針に見解は



再生可能エネルギーの最大限活用を境港市渡太陽光発電所（「カーボンニュートラルに向けた境港市の取組」より）

市長

今までの私の考え方に変更はない

【安田】政府が閣議決定した「第7次エネルギー基本計画」は、「原発依存度低減」を削除し原発の最大限活用と新たな原発建設を明記した。市長の見解は。

【市長】基本計画は原発に関して方針転換した。「再生可能エネルギーの最大限の導入を進め、原子力発電への依存から可能な限り早く脱却すべき」との私の考えに変わりはない。基本計画はエネルギーの安定供給のため、総合的に判断して方針を変えたところもある。

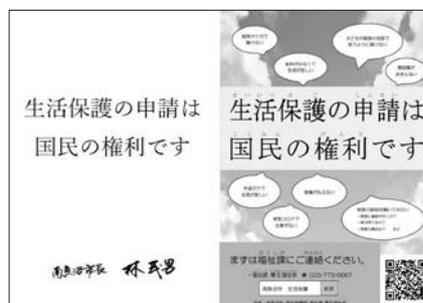
生活保護利用者の 自動車使用は？

市長

障がい児者の通院などで 一部容認

【安田】生活困窮者が気がねなく生活保護を利用できるように、「生活保護の申請は国民の権利」と広報が大切。生活保護のしおりの改善を求める。自動車保有や使用に関する制度運用について説明を。

【市長】しおりの不十分な点については改善を行っていきたい。自動車の保有・使用は原則認められていないが、障がい児者の通院・通勤に使用する場合に一定の要件のもとで容認されており、日常生活に不可欠な買物などの使用も認められた。



気がねなく利用できる生活保護制度に
新潟県南魚沼市
生活保護の広報ポスター

多額の補助金には 国県の支援が必須

市長

国への要望や県とも
協議している



済生会病院の現在



無所属

景山 憲 議員

〔景山〕 済生会境港
総合病院の新病院
基本構想と基本計画
について説明を受け
た。

総事業費146億
円に対して、自己資

金・借入金で83億円、
補助金65億円が必要
とされている。本市
とこの周辺地域に欠
かせない新病院建設
計画の早期の進行が
望まれる。進捗状況
や65億円という多額
の補助金についての
受け止めは、国・県
の支援は必須であ
る。そのほかの機
関から支援が見込
めるのか。

〔市長〕 新病院の建
設単価の高騰もあ

り、現在一部建替え
など、現計画の見直
しを含めて協議中と
聞いている。想定さ
れている65億円の補
助金は高額であり、
病院において資金確
保策の検討が必要と
感じている。国への
要望や県との協議を
随時おこない、支援
を検討いただいてい
る。企業版ふるさと
納税なども想定して
いる。

認知症対応施策による 成果は

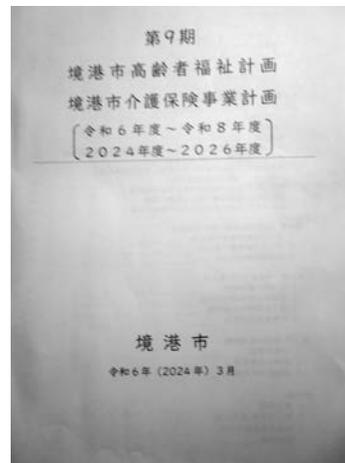
市長

自分ごととしてとらえ
考える状況が生まれた

〔景山〕 昨年12月認
知症基本法にもとづ
き、地域で希望を
もって暮らすことが
できるよう「認知症
施策推進基本計画」
が策定された。本市
でも第9期高齢者福
祉計画・介護保険事
業計画に沿って、認
知症サポート事業な
ど取り組みを実施し

てきたが、成果をう
かがう。また、若年
性認知症の人に対す
る支援、職場での理
解と支援については
どのように考える
か。

〔市長〕 平成22年度
から、認知症サポー
ター養成講座を小学
校4年生を対象に毎
年実施。また、講演
会として「認知症に
なっても安心して暮
らせるまちづくり市
民大会」を実施して
いる。市民も認知症
を自分ごととしてと
らえ、考えている状
況であり、一定の成
果と認識している。
企業が若年性認知
症に対して理解さ
れ、対応方法を知っ
ていただくことが重
要と考えている。



第9期境港市高齢者福祉計画
・介護保険事業計画

芝生育成で 荒廃農地対策の拡充を

市長

用地選定や補助金助成の 支援を考えている



1年間休耕した水田は荒廃農地化し
道路から投げ込まれた空き缶などが散乱

【米村】本市の重要課題は荒廃農地対策と考える。現状では、早生樹の育成栽培の



会派 ぎょうどう
米村 一三 議員

ほかは、さほど進展が見られない。

本市と「公園等の芝生化に関する連携協定」を結んだ(株)SC鳥取は荒廃農地を活用した芝生育成に取り組んでいる。本市でもその活動を展開したいとの構想がある。荒廃農地対策として最大限の支援をすべきと考える。

【市長】市の荒廃農地対策として、農地耕作条件改善事業に加え、伯州綿や学校給食米の栽培、早生

樹の試験栽培などに取り組んできた。

(株)SC鳥取は米子市で荒廃農地を活用して芝生の栽培に取り組む、地域循環型プロジェクト「しばふる」を展開しており、4.5ヘクタールの荒廃農地を活用した実績とノウハウを持っている。

本市においても同様の事業を展開するための協議を進め、用地選定・補助金助成の支援など、最大限の支援を考える。

先行する米子市の 学校再編の調査を

教育長

決定の経緯、住民説明の方法を参考にする

【米村】本市に隣接する、大篠津・崎津・和田小学校と美保中学校の美保中学校区において、米子市は初の施設一体型義務教育学校に、2つの公立保育園を統合した認定こども園を設置する幼保小中連携型の施設整備を進めている。校区エリア

や学校の規模、関係者の意見などについて調査し、参考にしていると考える。

【教育長】米子市の美保中学校区義務教育学校については、本市より先に話が進んでいることから、動向については注視していた。

本市では、昨年度に自治会、今年度は教職員や保護者との



余子小学校との学校再編が
実施された旧誠道小学校の現在

話し合いに取り組んだ中で、地域から学校がなくなることで、通学距離を気にする意見が多いと感じたところだ。

今後は米子市の新しい学校の形が義務教育学校に決まるまでの経緯ならびに住民への説明方法などを参考にして、本市の学校再編に向けて取り組む。

情報格差解消に向けた 取り組みは



公明党
足田 法行 議員

市長 スマートフォン講座の開催などを検討する

【足田】デジタル社会が進展する一方で、情報格差が生まれている。情報格差解消に向けた取り組みについて問う。

【市長】他自治体の事例も参考に、スマートフォン講座の開催などを検討したい。

【足田】スマホサポーター養成講座など、誰一人取り残さないデジタル社会の実現に向けた施策を求める。

【市長】支え合う地域社会を築くとともに、デジタル化に向け、機運の醸成をはかっていきたい。

抜本的な史料館のあり方を 問う



老朽化が進む
「海とくらしの史料館」

市長 最適なものは何か教育委員会と検討する

【足田】「公共施設等総合管理計画」の視点から、海とくらしの史料館を宿泊施設の利用目的での売却を含め、民営化の方法も考慮すべき。また史料館を新しい発見や希望を見出すような展示などの教育施設にするのも一つの方法だ。さらに、はく製など魚の魅力は県のおさかなパーク周辺に一本化してどうか。

【市長】史料館として最適なものは何か、教育委員会とともに検討していきたい。

耐震化推進の課題について問う

市長 戸別訪問を通じて耐震化の理解促進に努める

【足田】高知県は、耐震改修補助金の額が多く、自己負担10万円以下の人が4割もある。そこで本市の耐震化推進の課題について問う。

【市長】本市では、耐震性が不十分な住宅が約3100戸ある。経済的要因が一番多く占め、自分の家は大丈夫だという認識や後継ぎがないなど課題がある。令和7年度から耐震改修の補助額増額を予定している。耐震化の必要性を広報や戸別訪問を通じて、理解促進に努めたい。



令和7年度から耐震改修補助限度額140万円に耐震性のない住宅の解体費97万9千円に増額

公共工事における人手不足の影響は

市長

2024年問題による影響はないと考える



清水町下水道工事現場

【森岡】公共工事の入札・受注において、2024年問題による人手不足の影響はなかったか。

【市長】令和5年度



会派 きょうどう
森岡 俊夫 議員

に不調が7件、不調が2件。6年度に不調が7件あり、2024年から適用された時間外労働規制による人手不足によるものではないと考える。

【森岡】業界では、人手不足を補うためにICT化やDX化を推進しているが、本市も支援策が必要ではないか。

【建設部長】現況、無人化の機械導入な

ど、ICTの活用には至っていないが、今後も業界とは継続して協議したい。

【森岡】適正な入札を行うにあたり、市全体の入札発注窓口を一元化してはどうか。

【総務部長】職員数の問題などがあり、入札の集中化をはかるなど、効率化を進めているが、現時点ではその方向に向いていない。

他市町に負けない子育て支援策とは

市長

保育コンシェルジュを配置し、体制強化

【森岡】「子育てするなら境港」を象徴するような他市町村に負けない子育て支援策とは。

【市長】県内市町村に先駆け、「からだチエック」の無料券の配布や来年度から保育サービスの充実

保育料無償化（京都市のパンフレットより）

（京都市教育委員会）
令和7年1月6日
京都市子ども子育て支援部
助産師会 支援課
電話：075-251-2399

2人目以降の保育料無償化の開始へ
～「もっと」子育てがしやすくなる！
産後・子育て世代から選ばれるまちを築こう～

京都市では、これまでから、子育て世代の経済的負担の軽減を図るため、約15億円の歳入財源を投入し、保育料を定額・固定費の7割に軽減するなど、「子育て世帯にやさしいまち」を実現する取組を進めてきました。

この度、若者・子育て世代から、もっと「気軽に住みたい、気軽に子育てしたい」と思っていたり、思いを込めたいと希望されている方から、子育て世代の負担軽減のため、助産師や保育士の方々の協力を得て、助産師や保育士の方々の負担軽減を図ります。

1 無償化対象者
認可保育施設（※）を利用している世帯内2人目以降
（※）保育施設（※）、認定こども園、小規模保育事業所、事業所内保育事業所、家庭的保育事業所

| 対象児童 | 対象児童の性別 | （現行） | | | |
|-------|---------|-------|-------|---------|---------|
| | | 1～2歳児 | 3～5歳児 | 10～16歳児 | 17～22歳児 |
| 第1子 | 男 | 無償 | 無償 | 無償 | 無償 |
| 第2子 | 男 | 無償 | 無償 | 無償 | 無償 |
| 第3子以降 | 男 | 無償 | 無償 | 無償 | 無償 |

↓

| 対象児童 | 対象児童の性別 | （令和7年度4月以降） | | | |
|-------|---------|-------------|-------|---------|---------|
| | | 1～2歳児 | 3～5歳児 | 10～16歳児 | 17～22歳児 |
| 第1子 | 男 | 無償 | 無償 | 無償 | 無償 |
| 第2子 | 男 | 無償 | 無償 | 無償 | 無償 |
| 第3子以降 | 男 | 無償 | 無償 | 無償 | 無償 |

■ 無償化される範囲

をはかるため、保育コンシェルジュを配置する。

【森岡】子育て支援策として、保育料や給食費の全額無償化など全国的に地域間競争の傾向にある。

境港市として、今後どのように取り組んでいくのか。

【市長】財政的に黒字化の場合には、柔軟な対応を考える。

また、教員以外の支援コーディネーターの配置など教育委員会と連携していく。

【森岡】年齢差のある多子世帯の保育料半減と土曜日保育の不公平感を改善すべきでは。

【福祉保健部長】その指摘はいただいている。今後、しっかりと対応していきたい。

1/26 開催「市民と議会の懇談会」報告

1月26日、みなとテラス大会議室で「市民と議会の懇談会」を開催した。今回は昨年に引き続き、総務民教委員会担当の「学校再編」をテーマに絞って実施した。市民参加者は13名あり、3つのグループに分かれ、それぞれのグループに議員が2、3名参加して意見交換を行った。

意見交換終了後に、各グループで出された主な意見の発表を行い、最後に自由な意見をいただく全体意見交換を実施した。

■所感（要約） 総務民教委員会 委員長 平松 謙治

昨年実施した「公共施設」というテーマでは論点が広がりすぎた。その反省から、今回は「小中学校再編」にテーマを絞り、4つの再編パターンを示して実施したので、参加者の活発な意見を聞くことができた。

小中一貫校にした場合に中学生と小学生と一緒に学校に行くこととなるが、それが良いのかどうかとの視点についても、グループによって異なる意見があり、さまざまな角度からの検討が必要だと強く感じた。

また、ドラスティックに全体を見据えた中で、校舎の建設地域をどのように配置していくのかといった、都市計画に踏み込んだ意見や議論もあった。

通学距離が長くなることから、通学問題の課題についても意見が多く出された。さらに、学校跡地の利用や新しく建設する学校をコミュニティーセンター化して、公民館などを併設し地域が一体となることを願う意見も出された。

政策について、議員ごとにさまざまな方向性があり、学校再編の議会全体の取りまとめとなると、かなりハードルは高いと考えるが、議員として責任をもって行動していきたい。皆様の意見を議員一人ひとりが責任をもって結論が出せるよう努めてまいります。

多くのご意見ありがとうございました。



■委員長 所感（要約）

本年4月から実施予定のA1を用いた予約型乗合バス「みなとーる」を実施予定であることから、先駆的に実施している宗像市と宮若市で実施の状況や課題などを説明いただき大いに参考になった。

立地適正化計画においては、コンパクト化と利便性の向上をはかることや持続可能な都市を計画するにあたっては地域公共交通の重要性と災害に強いまちづくりが必要なことなどを認識した。

重層的支援制度事業の実施には、複合化した課題の解決に向けた体制づくりと担当者間の連携・コミュニケーションを深める取組みの必要性を感じた。

2/16 開催「市民と議会の懇談会」報告

昨年8月に実施した「地域公共交通」をテーマとした意見交換会に引き続き、今回も新しく4月から導入予定の「予約型乗合バス（みなとーる）」をテーマとしての「市民と議会の懇談会」を2月16日（日）にみなとテラスで開催し、23名の市民の方に参加いただいた。議員は1月12日より開始された新方式のバスの試験運行を体験して懇談会に臨み、4グループに分かれて意見交換を行った。

■所感（要約） 経済厚生委員会 委員長 吉井 巧

予想していたことではあるが、この懇談会の場で「みなとーる」のメリットはあまり聞えなかった。しかし、「はまる一歩バスと比較して、乗り心地が良かった。」「定時定路線であるはまる一歩バスと比較し、最短ルートかつ短時間で目的地に行ける。」などはメリットであると考えます。

意見交換会では、デメリットや改善点に関しての数多くのご意見をいただいた。試験運行は4月からの本格運行をより使いやすく改善するために実施するもので、市民に利用方法に馴れていただき、利用にもとづいてのご意見をお聞きするためのものです。

経済厚生委員会では、4月の本格運行開始以降も利用者の声に耳を傾け、より利便性の高い「みなとーる」となるよう取り組んでまいります。



経済厚生委員会 行政視察 報告

1月14日（火）から16日（木）の日程で、委員会メンバー6名が参加して福岡県所在の3つの自治体を訪問し、行政視察を行った。

宗像市では「AI活用型オンデマンドバス『のるーと』」と「立地適正化計画」について、2日目には、宮若市で「『ふれタク』AIデマンドタクシー」について、最終日は、岡垣町にて、「重層的支援体制整備事業」についてのテーマで視察を実施した。





ファイナルアプローチ 2024年10月 撮影：大濱 博幸 様



青空に悠々と 2024年5月 撮影：竹田 誠司 様

あとがき

令和7年3月議会にて、境港市議会基本条例の一部を改正する条例を制定、境港市議会政治倫理条例の一部を改正しました。境港市議会では、境港市議会基本条例にもとづき、議会改革推進特別委員会にて、基本条例の検証、見直しについて議論を進めてきました。

議会改革推進特別委員会では、令和6年10月に、境港市の全職員を対象に現職議員からのハラスメントにかかわるアンケート調査を実施し、その結果をふまえ、市議会のハラスメントに関する規定の制度化にいたしました。

かねてより議論を重ねてきた、議員定数と議員報酬については、議員定数は継続して審議を進め、報酬については境港市特別職報酬等審議会に審議を委ね、答申をふまえた提案を受けました。

議会中継のYouTube配信、Facebookでの活動報告など、議員の活動を公開しています。

議員は名誉職と言う意見もありますが、議員一人一人、意見に責任を持ち、市民の代弁者として、調査・研究し、市民生活の向上に努めてまいります。

(松本)

【発行責任者】

議長 永井 章

【広報部会】

部長 足田 法行

副部長 松本 晶彦

伊藤 康弘

柁 康弘

米村 一三